

内閣府副大臣

赤澤 亮正 様

国の施策等に関する
提案・要望書

(平成26年9月)

鳥 取 県

拉致問題の完全解決について

5月末の日朝政府間合意文書に基づき、北朝鮮が設置した特別調査委員会において、拉致被害者等全ての日本人を対象とした包括的全面的調査が行われているところです。

政府におかれては、オールジャパンの体制で対話と圧力の姿勢により拉致問題の一日も早い解決に向けて全力で取り組まれており、また新たな拉致被害者の帰国に備えた支援策の拡充等について検討されております。

本県としても、拉致被害者の方が帰国され、ふるさとで安心して暮らしていただけるよう、補正予算を検討するなど、御帰国に向けた準備を進めているところです。

報道によると、9月中にも拉致被害者等に関する第1回の報告がなされるとのことです。今まさに、膠着状態にありました拉致問題が、解決に向けて動こうとしております。

政府においては、この重大な局面を逃すことなく、拉致問題の完全解決に向けて、北朝鮮との交渉をすすめ、松本京子さんをはじめとする拉致被害者全員の帰国を一刻も早く実現することを強く要望します。

平成26年9月11日

鳥取県知事 平井伸治

鳥取県の拉致被害者

【政府認定拉致被害者】

- ①松本京子さん（米子市出身、当時29歳）：昭和52(1977)年10月21日、自宅近くの編み物教室に向かったまま行方不明。
※平成18(2006)年11月20日、政府が拉致被害者と認定。
(全国で17人目、県内初)



【特定失踪者（拉致の可能性が指摘されている人）】

※特定失踪者問題調査会の公表による

- ②古都瑞子さん（日南町出身、当時47歳）：昭和52(1977)年11月14日、普段着で出かけたまま行方不明。自宅には旅行の切符やポケベルも置いたまま。
※平成19年6月、特定失踪者問題調査会は、調査の結果「拉致の可能性が高い」と判断。
平成19年8月、米子警察署に告発状（所在国外移送目的略取誘拐罪）を提出。



- ③矢倉富康さん（米子市出身、当時36歳）：昭和63(1988)年8月2日、一人で出漁して行方不明。精密工作機械製作の元エンジニア。
※平成19年6月、特定失踪者問題調査会は、調査の結果「拉致の可能性が高い」と判断。
平成19年10月、米子警察署に告発状（所在国外移送目的略取誘拐罪）を提出。



- ④上田英司さん（伯耆町出身、当時20歳）：昭和44(1969)年11月4日、「京都に行ってくる」と東京の下宿家主に言ったまま行方不明。荷物は紙袋一つ。



【拉致の可能性を排除できない事案に係る方】※鳥取県警察本部の公表による

- ⑤木町勇人さん（大山町出身、当時20歳）：昭和50(1975)年8月25日、京都府宇治市の下宿先を出て以降、行方不明。



- ⑥松田敏一さん（大山町出身、当時25歳）：平成4年(1992)年9月17日、千葉県船橋市の下宿先を出て以降、行方不明。

